

新型コロナウイルス感染症の経過について

令和3年4月16日に1階病棟職員2名、4階病棟職員1名、売店職員1名の新型コロナウイルス陽性を確認致しました。保健所の指示のもと陽性者4名はそれぞれ指定医療機関入院・宿泊施設療養となりました。

このため病棟職員全員と関連部署職員に抗原検査を行いました但全員陰性でした。また濃厚接触の可能性のある職員を自宅待機とし、病棟は面会・外泊・入退院等の停止、外来は診療休止、デイケア・訪問看護も休止としました。

4月22日に1階病棟の患者様1名の陽性が確認されたため、同病棟の患者様全員に抗原検査を行いました但全員陰性でした。陽性の患者様は保健所の指示により当院で治療することとなり、1階病棟内に新型コロナ専用区画を設け治療を開始しました。同26日に新たに同病棟の患者様1名の陽性が確認されたため同様の対応を行っております。

当該病棟では最大限の感染拡大防止措置を取りながら患者様への治療及び看護を行っておりますが、今後も保健所等と相談しながら適切に対応していく所存です。

当院の診療におきましては、引き続き面会・外泊・入退院を停止し、外来は新患の受け入れ停止、再来患者様へは投薬のみの対応とさせて頂いております。また精神科デイケアと訪問看護も休止としております。

なお現時点では1階病棟の2名の患者様以外の患者様や職員には感染の兆候は認められておりません。

患者様、御家族様には大変なご迷惑・ご心配をお掛け致しておりますが、引き続きご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。